



随所に成長の跡

V 水元 鹿実 2 又六歳

号外



第59回県高校新体操選手権大会第1日は5月23日、鹿児島市の県体育館で男女個人があった。男子は村田慎也（鹿実）が総合17・000で初優勝。女子は7年生の水元菜央（同）が総合27・016で昨年に続いて個人2連覇を達成した。男女とも1位が全国大会、2位までが九州大会に出場する【政純一郎】

前回覇者の水元菜央（鹿実）がこの1年の成長ぶりを随所に発揮し、2位以下を大きく離して連覇した。フープはミスなく思うような演技ができました。クラブは出だして落ちてしまっていて崩れかけたけど、後半で立て直した。この日の演技を振り返る。1年生の昨年は思い切りの良さや勢いを持ち味にしてきたが、1年経って「この技の難度を上げ、より美しく魅せる演技に取り組んできた。演技を始める前、一つの技に取り掛かる前にしっかりと呼吸を整えることを心掛けた。日々の練習で技と体は身につけている。あとほそれを本番で発揮するために呼吸を意識するようになった。」「鹿実」の字は「自分の心」と書く。自分の心を表現することが大事ですから」と吉田涼子監督。2年生ながら県内では常に追われる立場のフレイシャを背負うが「小さく頃からいっしょにやってきました。ライバルだった迫さん（鹿純心）が演技に入る前に「頑張ると声をかけた姿を見て彼女は大丈夫」と思った（舎田監督）。

